

双生児研究学会

第 26 回学術講演会開催のご案内

創立以来、双生児募集枠を設け、これまで 912 組の双生児が入学し、2011 年度は全校で 64 組が在籍している、この東京大学教育学部附属中等教育学校で、第 26 回日本双生児研究学会学術講演会を、開催していただけることになりました。

本校では現在、東京大学教育学研究科のプロジェクトとして、創立以来蓄積してきている各種のデータの電子化を進めており、同時に、そのデータを用いたデータベース構築が進んでいます。

多くの双生児が 6 年間を過す、世界に類を見ない「ふたごの学校」のようすを、ご覧いただけるような企画を用意して、皆さまのご参加をお待ちいたしております。

1. 講演会の概要

1) 会期と会場

会期：平成24年（2012年）1月28日（土） 9:20～17:10 懇親会 17:30～19:30

会場：東京大学教育学部附属中等教育学校 (<http://www.hs.p.u-tokyo.ac.jp/>)

2) プログラム（詳細は後述）

- ① 研究発表（口頭発表）
- ② 特別企画 1（酒井邦嘉先生[東京大学 大学院総合文化研究科]による講演）
- ③ 特別企画 2（東大附属の双生児たちによるシンポジウム）
- ④ 幹事会
- ⑤ 総会

2. 研究発表

- ① 発表 15分 ・ 質疑 5分 です。
- ② 発表時のスライドはMicrosoft PowerPointでお願いします。

3. 会費について

参加費： 2,000円 双生児の保護者： 1,000円 懇親会費： 3,000円（事前申し込み）

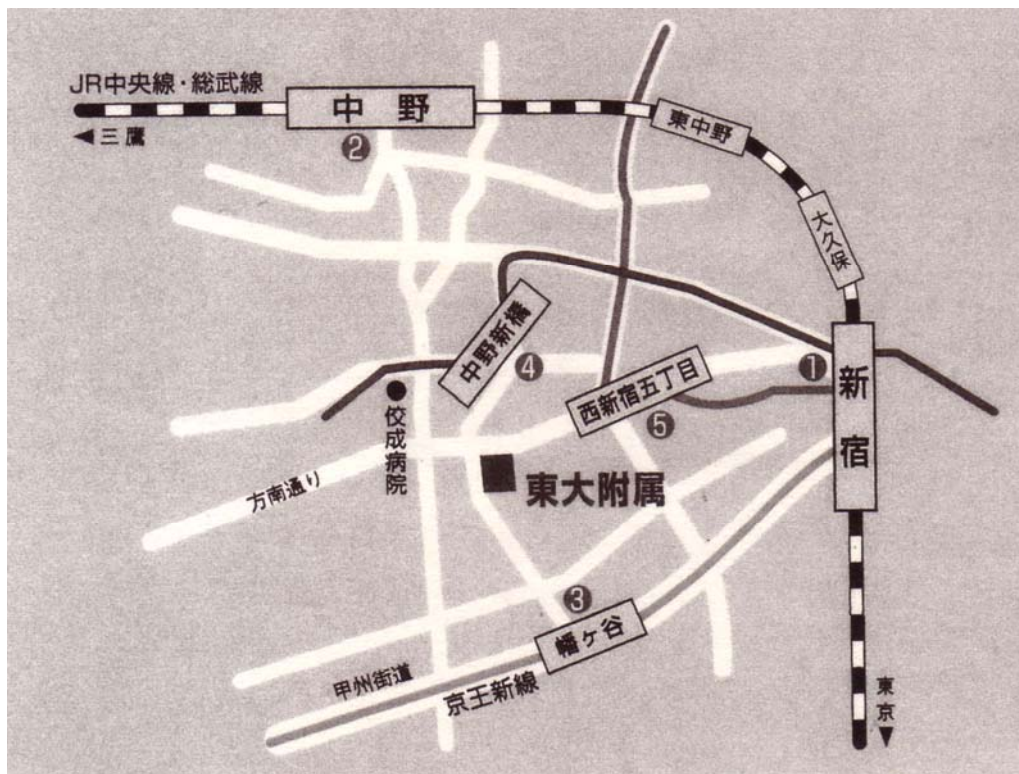
4. 託児について

託児サービスはございません。予めご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

5. 宿泊について

大会事務局では予約の斡旋はしていません。
必要な方は各自でご予約頂くようお願いいたします。

6. 交通のご案内 (ウェブサイトも併せてご覧ください)



- ① JR線「新宿駅」西口から 京王バス
(永福町行、佼成会聖堂普門館前行)・・・「東大附属」下車、徒歩1分
- ② JR線「中野駅」南口から 京王バス
(渋谷駅行、新宿駅西口行)・・・「南中野地域センター」下車、徒歩5分
- ③京王線「幡ヶ谷駅」下車・・・徒歩15分
- ④東京メトロ丸の内線「中野新橋駅」下車・・・徒歩10分
- ⑤都営大江戸線「西新宿五丁目駅」下車・・・徒歩15分

7. お問い合わせ・連絡先

東京大学教育学部附属中等教育学校
日本双生児研究学会第26回学術講演会大会事務局
〒164-8654 中野区南台1-15-1

E-mail : twins26@hs.p.u-tokyo.ac.jp

TEL : 03-5351-9050 (代表) FAX : 03-3377-3415

8. プログラム詳細

1. 開会の辞 9:20～9:25 場所：大教室（南校舎 2階）
2. 事務連絡 9:25～9:30
3. 特別企画1 9:30～10:50
「脳から見た言語の発達」
酒井邦嘉（東京大学 大学院総合文化研究科）
4. 特別企画2 11:00～12:20
東大附属の双子児たちによるシンポジウム
5. 昼休み 12:20～13:20 （幹事会 於：1階応接室）
6. 総会及び表彰 13:20～14:10 場所：大教室（南校舎 2階）
双子児学会奨励賞受賞講演
福島昌子（東京大学教育学部附属中等教育学校）
7. 一般演題（1） 14:20～17:10 場所：大教室（南校舎 2階） 座長：杉浦祐子（ツインマザーズ
クラブ）、榎府暢子（東京大学教育学部附属中等教育学校）
- 14:20 - 14:35 多胎育児支援の現状と課題 ―訪問と拠点による複合的な子育て支援から―
森田圭子^{1/2/3}、山田幸恵^{2/3}、田中輝子^{2/3/4}（¹特定非営利活動法人わこう子育て
ネットワーク、²特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン、³埼玉ホーム
スタート推進協議会、⁴一般社団法人日本多胎支援協会）
- 14:40 - 14:55 「虐待防止のための連携型多胎支援事業」について
志村恵、糸井川誠子、大木秀一、大岸弘子、大高恵美、越智祐子、加藤則子、
河原廣子、玄田朋恵、佐藤喜美子、末原則幸、杉浦祐子、田口章子、田中輝子、
天羽千恵子、中川美香、服部律子、平石皆子、布施晴美（虐待防止のための
連携型多胎支援事業推進委員会）
- 15:00 - 15:15 行政・医療との協働による地域に根差した多胎支援～ぎふの報告その1
服部律子¹、川鱒市郎²、安藤智子³、糸井川誠子³、小川洋子³、加納真奈美³、
田口章子³、寺澤貞子³、野村万里子³、林真由美³、安江明美³、山田香保里³、
他38名³、（¹岐阜県立看護大学、²国立病院機構長良医療センター、
³ぎふ多胎ネット）
- 15:20 - 15:35 多胎の妊産婦とその家族へのケアマニュアルの開発
平石皆子（埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科）
- 15:40 - 15:50 休憩
- 15:50 - 16:05 双子の父親の「子育て観」、「子ども観」
林知里（千里金蘭大学看護学部）
- 16:10 - 16:25 母親の視点で考える男女のふたごの子育て
廣瀬英子、田中公子、牧真理子、増田麻美、ボイル由美子、村田ゆかり、
吉江裕子、早内由美子、横内まき子、金井寿子、大島早苗、渡辺千恵子、
杉浦祐子、天羽幸子（ツインマザーズクラブ）

16:30 - 16:45 **子ども期の仲間関係における能動・自己主張性の発達**
～親による双生児きょうだいの育て方と子どもの友達づきあいの観点から
前川浩子¹、酒井厚²、眞榮城和美³、松本聡子⁴、則定百合子⁵、上長然⁶、
酒井彩子⁷ (¹金沢学院大学文学部、²山梨大学教育人間科学部、
³清泉女子学院大学人間学部、⁴お茶の水女子大学人間発達教育研究センター、
⁵和歌山大学教育学部、⁶近畿大学豊岡短期大学、⁷お茶の水女子大学大学院
人間文化研究科)

16:50 - 17:05 **親による双生児きょうだいのピアマネージメントに関わる要因の検討**
- 親と子どもそれぞれのパーソナリティに注目して -
酒井厚²、前川浩子¹、眞榮城和美³、松本聡子⁴、則定百合子⁵、上長然⁶、
酒井彩子⁷ (¹山梨大学教育人間科学部、²金沢学院大学文学部、³清泉女学院
大学人間学部、⁴お茶の水女子大学人間発達教育研究センター、⁵和歌山大学
教育学部、⁶近畿大学豊岡短期大学、⁷お茶の水女子大学大学院人間文化研究科)

8. 一般演題 (2) 14:20～16:50 場所：多目的教室 (総合教育棟 4階)

座長：福島昌子、沖浜真治 (東京大学教育学部附属中等教育学校)

14:20 - 14:35 **チンパンジーのきょうだい関係ー比較双生児学の試み(2)**
安藤寿康¹、友永雅紀²、福守朗³、絹田俊和³ (¹慶應義塾大学文学部、
²京都大学霊長類研究所、³高知県立のいち動物公園)

14:40 - 14:55 **三つ子の出産率、死産率、周産期死亡率、乳児死亡率の動向1999～2008年**
今泉洋子、早川和生 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

15:00 - 15:15 **乳児期のふたごにおける事故の発生状況**
佐々木裕子、太田ひろみ、佐藤喜美子 (杏林大学保健学部看護学科)

15:20 - 15:35 **双生児のきょうだい関係と社会的適応との関連**
野寄茉莉^{1/2}、藤澤啓子³、安藤寿康³、長谷川寿一¹
(¹東京大学総合文化研究科、²日本学術振興会、³慶應義塾大学文学部)

15:40 - 15:50 休憩

15:50 - 16:05 **利き手、利き足、利き耳に影響を与える遺伝及び環境構造**
鈴木国威¹、安藤寿康^{1/2}
(¹慶應義塾大学先導研究センター、²慶應義塾大学文学部)

16:10 - 16:25 **社会的役割と抑うつ症状に共通する遺伝・環境要因**
尾形宗士郎¹、富澤理恵²、西原玲子³、加藤憲司⁴、早川和生^{1/4}
(¹大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座、
²千里金蘭大学看護学部看護学科、³Harvard University school of public health、
⁴大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター)

16:30 - 16:45 **高齢双生児における生活満足度に関する研究**
植田真帆¹、加藤憲司²、早川和生^{1/2} (¹大阪大学大学院医学系研究科保健学科
専攻、²大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター)

9. 事務連絡 17:10～17:15 場所：大教室 (南校舎 2階)

10. 閉会の辞 17:15～ 場所：大教室 (南校舎 2階)

*懇親会 17:30～19:30 場所：多目的教室 (総合教育棟 4階)